



こもれび新聞

2021年
3月号

連絡先：〒197-0825 東京都あきる野市雨間385-2 電話 042-550-3030 FAX 042-558-0756
発行者：社会福祉法人さくらぎ会・特別養護老人ホーム こもれびの郷・広報委員 <http://www.komorebinosato.or.jp>

来年度事業計画策定

施設長 藤田 和弘

四月からの来年度に向けた事業計画が完成しております。今回はその冒頭に掲げた管理者としての言葉をここで伝えたいと思います。

令和3年度は、第八期介護保険事業計画のスタートとなります。また、介護報酬が三年前の改定に続き、プラス改定となりました。これは、新型コロナウイルスの影響による、介護事業者全体の経営状況の悪化を反映させたものと思われまします。内容を見ると今後起こりうる地震や台風、集中豪雨などの自然災害やウィズコロナ時代を乗り切るためのBCP（事業継続計画）の策定を求められております。それは、利用者様の生活を中断すること、サービスを止めることがないように、事前に整備しておくことが必須だということなのでしょう。こもれびの郷としても利用者様が安心して、安全に暮らせる日々を提供し続けられるように準備や体制づくりに努めてまいります。

一方でこの窮屈な時代の中でも、生活の中に楽しさを感じられる場面を一つでも多く作っていただけるように努めてまいります。法人の理念である「人に優しく」を常に考えながら、利用者様の生活の質の向上に努め、また、すべての職員の働きやすい職場づくりにも取り組み、活力ある施設づくりをめざしていきます。

感染症対策実施中

以下の感染症対策を行っております。
利用者の皆様の安全のため
以下ご協力下さい。

- ・ご面会の一部自粛
 - ・利用者様の外出外泊停止
 - ・ボランティア活動の停止
- 皆様以外でご面会に来られる方にもお伝え下さいませ。

前理事長の訃報

理事長 宮林大輔

宮林瑛（さとし）前理事長が、去る一月三十日に永眠いたしました。関係者の皆様方におかれましては、これまで故人ならびに社会福祉法人さくらぎ会に多くのご理解及び応援をいただきありがとうございます。後継理事長として、そして家族の一員として改めてお礼を申し上げます。

前理事長は三年前ほどから体調を崩し、ここ最近では医療的な理由から入院をしておりました。そして最後は眠るように八十歳の人生の幕を閉じました。

前理事長の歩みを振り返れば、日大法学部を卒業し武蔵野市役所福祉課に奉職してよりのおおよそ六十年の年月を、一貫して福祉の道に捧げてまいりました。

具体的なお仕事としては武蔵野市役所のケースワーカーから始まり、保育園の園長、特別養護老人ホーム施設長、在宅サービス管理者と多くの事業を興し責任者を務めてまいりました。また晩年には生地日の出町において、社会福祉協議会の会長も務めました。

戒名は「桜蹊院優心瑛福居士」と付けていただきました。

意味は、「美しい桜を見に来た人たちの歩みで道が出来た。優しい心を持って福祉にまい進した。」ということだそう。自らが興した社会福祉法人に、多くの有為な人材が集い、地域福祉の発展に力を尽くしているという現状がよく表されていると感じ、大変ありがたく思っています。

なお、現在は新型コロナウイルス感染症の流行下にもあることから葬儀は家族葬とし、既に執り行われました。今後、コロナ禍が落ち着きを見せましたらお別れの会を行えればと考えております。その折は、お時間ある方には是非足をお運びいただきたいと思います。

季節行事二月

こもれびの郷では、毎月利用者の皆様に季節を感じていただける様な行事を企画しております。

先月の二月は節分行事として豆まきをおこないました。鬼に扮装したワーカーが各階をまわり、利用者の皆さんに退治していただくという趣向でお楽しみいただきました。本物の豆をまくことが難しかったので、安全に配慮した代替の豆（フェルトで出来た手作りの豆）を使っていたいただきました。



お馴染みのブルー＆レッドの鬼たち

調理室より

栄養士 武田 ゆめ

まだまだ朝晩は冷え込みますが、日差しが暖かい日も増え、少しずつ春の訪れを感じる季節になってまいりました。こもれびの郷の周りの花が咲き始めています。

二月は施設の中で節分のイベントが行われました。今年は百二十四年ぶりに二月二日が節分でした。節分は立春の前日のことを指しますが、立春の日付は年により異なるそうです。

この日は午後のおやつ時間に鬼の絵柄が描かれたパッケージのボーロをお出ししました。職員の扮する鬼が登場し豆まきをしたりと、利用者の皆様も節分の気分を味わっていただけただけではないでしょうか。

また二月二十三日は天皇誕生日でしたので、行事のお食事として「いなりずし」をお出ししました。久しぶりにお出ししましたが、いなりずしの日は喜んでくださる利用者の方も多く、厨房の職員も頑張っておりました。

昨年から続く感染症予防のため外出も自粛となり、なかなかできない日々が続いております。その様な中ではあります、利用者の皆様にはお食事や季節の変化を感じていただけるような行事食を取り入れていきたいです。



天皇誕生日のメニュー
「いなりずし」

ご利用者・ご家族・ご近所の皆様へ・・・

こもれびの郷へのご意見・ご要望等がございましたら、お気軽にお知らせ下さい。



ガウンを着てみるなどの実践も

こもれびの郷立地のあきる野市・秋川流域で医療の中心を担う、公立あきる医療センターの感染症対策チームの後援を受けて、感染症対策研修が行われました。

これはコロナ禍の現在、地域の医療体制の安定を図る為にあきる医療センターが区域内の各施設を巡回・指導する仕組みなのですが、当施設も手を上げて、講師に足を運んでいただくというものです。

こもれびの郷では、業務の変更などをしているべく多くの職員を参加させました。基本的な知識・技術の伝達のため、質疑応答から館内の巡視まで行いました。

こもれびの郷の取り組みの再確認と、いくつかの新しい情報に触れることができた貴重な時間となりました。

感染症対策研修



感染症のプロの指導で再確認



ハンドマッサージを提供

こもれびの郷では、利用者の皆様のお誕生日の月にその方に合わせたお祝い、バースデー企画を行っております。

趣旨としては、こもれびの郷をご利用いただいている大切なお客様への感謝を込めてお祝いをさせていただきます。

ただ、このお祝いの企画は利用者様のお部屋の担当をさせていただきます。

だいたい、職員が行い、「どの様な形でいえば喜んでいただけるか。」を考えて事を運んでおります。

本来ですと近隣の外出なども可能なのですが、ご時世もあり現在はホーム内での誕生日パーティーが主となっております。

お誕生日おめでとう ございます



華やかにお祝い



書道クラブ作品

今月の芸術家



みやのあつち



からり施設散歩の旅
ファイル174
「保育園作品展」

今回は番外編として同法人の「さくらぎ保育園」、「さくらぎこば」の2つの保育園でこの程日頃の成果を発表する作品展が行われました。力作揃いでしたが、紙面の関係で一部の作品をお見せいたしました。はやくコロナウィルスが収まり、ふたつの保育園との交流を再開したいですね。

俳句川柳クラブ

如月の
亡き汝（な）の夢を
悲しめり
（渡邊吉氏）

如月に
北風寒し
春遠し
（庄司氏）

十和田湖の
寒き二月の
泊まる宿
（遠藤氏）

南天も
色づき始め
赤色に
（庄司氏）

冬晴れに
急いで芽を出す
春の花
（清水氏）

あぜ道を
行けば田んぼの
苗揺れる
（吉川氏）

ボランティア通信

活動見合わせ 期間延長のお知らせ

新型コロナウイルス流行がいまだ終息してありません。利用者様の安全を守る為に引き続き活動休止期間を延長させていただくこととしました。

再開時期は未定ですが、決まり次第この「こもれび新聞」でお知らせしたいと思います。何卒ご理解の程お願い申し上げます。

<3月の行事>

- 1 月 手芸クラブ
- 2 火
- 3 水 ひなまつり
- 4 木 音楽クラブ
- 5 金 理容
- 6 土 療法士指導
- 7 日
- 8 月 俳句川柳クラブ
- 9 火
- 10 水 防災訓練
- 11 木
- 12 金 理容、紙芝居クラブ
- 13 土 アロマクラブ、療法士指導
- 14 日

※ 感染症予防の為、当面の間ホーム喫茶及び外部ボランティアさんの参加をお休みいたします。

- 15 月
- 16 火 手芸クラブ
- 17 水 菓子配達
- 18 木 アロマクラブ
- 19 金 理容、華道クラブ
- 20 土 療法士指導
- 21 日
- 22 月
- 23 火 小さな音楽会
- 24 水 茶道クラブ
- 25 木 手芸クラブ
- 26 金 訪問美容、利用者懇談会
- 27 土 療法士指導
- 28 日

- 29 月 出前喫茶・青蛾珈房
- 30 火 手芸クラブ
- 31 水 書道クラブ

<4月の行事> ※変更の可能性あります

- 1 木 クラブ活動
- 2 金 理容
- 3 土 療法士指導
- 4 日
- 5 月 クラブ活動
- 6 火
- 7 水 防災訓練
- 8 木 クラブ活動
- 9 金 理容
- 10 土 療法士指導

